

SYDかわらばん

＜最新活動情報 No.172＞ 2023 年 3 月 20 日号

主催事業・活動等

報 告

2/15～17…「リフレッシュセミナー」13人〔福島県猪苗代町・みなとや〕

《鈴木義信、山崎一紀、根岸秋吉、志村和也》
3年ぶりに開催。修養団理事で公益財団法人日本オリンピック委員会名誉委員の鈴木義信氏による特別講話、ブラインドウォークや末広がり発想法による話し合いなどの体験学習、交歓の集いなどグループワークを実施した。

最終日には、絶景の猪苗代湖での水行に挑み、無事完遂した。参加者より写真撮影のリクエストがあるなど、和やかな雰囲気終了。開会式・閉会式では修養団福島県連合会・三瓶利正事務局長からご挨拶をいただいた。



2/26…第5回「Zoomでオンライン“愛と汗”幸せの種まき講演会」”いきいき生きる「かきけこ」”12人

《保坂正志》



本年度5回目の講演会として、保坂正志SYD講師が「かい・きい・くい・けい・こい」を題材として、生き生きとした日常生活におけるヒントについて講演した。

「きい」=奇異=多様性

総親和総努力
総幸福



★「青年ボランティアゼミナール」

2/17…第5回“いのちの体験教室～合言葉は大災害が来ても生き抜く～”14人

《高貝正芳》

一般社団法人 いのちを守る@プロジェクトJAPANの高貝正芳さんが、“阪神淡路大震災で被災された経験や各地での防災講演活動の様子とともに、災害が起きた時の初動や、地震の知識、備えと実践など、改めて防災の基礎を幅広く教えてくださった。参加者からは「わが家も災害を想定して話し合い、防災グッズ等も備えたい。」「災害があっても自分や周りのいのちを守ります。」との感想を聞くことができた。



3/3…第6回“発達障害・グレーゾーンに寄り添う～特性のある方への関わり方～”13人

《緒方広海》

公認心理師・臨床心理士で、LITALICOジュニア児童発達支援事業部副事業部長の緒方広海さんによる講演では、「特性のある子どもたち」の行動が問題ではなく、環境・人間関係における困った場面が発生するときに問題となると教えていただいた。参加者からは、「特性に対して



③ポジティブな関わりのおすすめ



マイナスに思っていたが、楽しく接していただければいいのかなと困らなくなった。と言えるようにしたい」と前向きな感想を聞くことができた。

★WAKU×2ボランティアリーダー研修会

2/17～19…裏磐梯〈SYDいばらき〉8人〔福島県北塩原村・ばんだいふれあいぴあ〕 《志村和也》



冬季キャンプに向けて、講師によるSYDの団体説明、ボランティア活動を実施する上での心構え等の講話、会場確認及びリハーサルを含むリーダー研修を実施。

リーダーは自主的に活動、準備に取り組み、4年ぶりの開催となるが、非常によいキャンプになることが期待できる有意義な研修となった。

〈発信・尾張大隆〉

2/18～19…千葉〈SYD東京〉10人〔千葉県南房総市・大房岬自然の家〕《小暮重則・板倉和也・谷野渉》



SYD東京のメンバーを中心に実施。長年にわたるリーダー経験のある小暮重則氏を講師に迎え、“リーダーの基本的な心得”について講話があった。またキャンドルファイヤーや合宿(キャンプ)のQ&Aの協議などをおこなった。オープンマインドで子どもたちと接することや、一人一芸としてレクやゲームを身につけることが自信につながる

など、心に残ったと感想があった。

★子どもWAKU×2ひろば

2/21…郡山〈みどり幼稚園〉“冬と自然と友だちと” 87人〔福島県郡山市・みどり幼稚園及び郡山自然の家〕 《板倉和也》



3年ぶりの開催。当日は雪が降り、子どもたちは外に出て雪だるまなどを作って遊んだり、リーダーたちが準備したレクや歌、ダンスで大いに盛り上がり、楽しい一日を過ごした。

3/3～5…裏磐梯〈SYDいばらき〉39人〔福島県北塩原村・ばんだいふれあいぴあ〕 《志村和也》

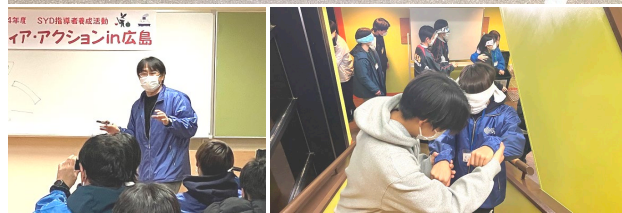
早朝はマイナス10度になる厳しい寒さと、他では体験できない豊富な積雪の中で、子どもたちは寒さに負けず、元気に雪合戦やそり遊び、かまくら作りなど、自由に冬の大自然を満喫した。また雪上キャンプファイヤーや地域文化研修としてワカサギ釣りを実施。凍った湖上では、皆で協力して2mの雪だるまを作った。

参加者からは、みんなの絆が集まった雪だるまができて嬉しかったと感想があった。



★ボランティア・アクション

2/25～26…広島〈協力:SYD広島〉25人〔広島県・広島市似島臨海少年自然の家〕 《石田博嗣・板倉和也》



SYD広島の協力のもと開催。ボランティアの実践として“本気のゴミ拾い・雑巾がけ”とし、島のゴミ拾い、施設内清掃を実施。またSYD広島代表の石田博嗣氏が“福祉ボランティア活動の基本車いす実習”及び“コミュニケーション技法”をテーマに講義。さらに企業研修などでおこなっているブラインドウォークを体験するなど、学びの多い事業となった。

3/11～12…瀬戸内海 25人〔香川県小豆島町・小豆島ふるさと村キャンプ場ほか〕 《板倉和也》

ボランティアの実践として、夏のキャンプで使用しているテントの整備や備品の点検をおこなった。また30年以上にわたって読み聞かせを地域で実践されている諸石正宣講師から読み聞かせの基本やポイントを教えてもらい、実際に



図書館で子どもたちに読み聞かせのボランティアを实践した。ほかにも影絵クイズやミニ工作などの五感を使った遊びもあわせておこない好評だった。

参加者は、チームワークの大切さや読み聞かせの奥深さについて学ぶことができた。



【幸せの種まきキャンペーン《出前講座》】

《山口千恵子、谷野渉》

報 告

3/10 東京都多摩市立青陵中学校 115人

伊勢青少年研修センター事業 [三重県伊勢市]

《武田数宏、寺岡賢、山崎政弘、志村和也、増田航介、齋田聖生、竹本英美、亀田希奈里》

★みがく講習会

3/7～10…第1222回 22人



若手社員からベテラン社員まで参加者のバランスがよく、4日間、春を感じさせる陽気の中、互いに学び合い、活気に満ち溢れた講習会となった。



★みがく特別講習会

2/18～19…第2回 65人

2/25～26…第3回 69人



社会人に加え高校生や大学生も参加し、年齢や職業も幅広い参加者層であったが、第2回・3回とも受講者は前向きに互いをみがき合い、高め合い、1泊2日という短さながらも、活気に満ち溢れた素晴らしい会となった。

予 定

3/26…第6回「Zoomでオンライン“愛と汗”幸せの種まき講演会」“いつも命に向き合って～祖父が照らしてくれた修養団への道～”

《キャリアカウンセラー・牧野理香》

3/26～30…第2回「子ども自然体験スキーキャンプ」[福島県北塩原村・ばんだいふれあいぴあ及び猫魔スキー場]《高橋源一郎、板倉和也、谷野渉、増田航介》

※24～25 はリーダー研修会

3/31～4/4…全国青年アカデミーキャンプin福島[福島県北塩原村・ばんだいふれあいぴあほか]《高橋源一郎、震災遺構中浜小学校語り部ガイド、岩佐加寿子、山口千恵子、板倉和也、谷野渉、増田航介》

4/4～7…第1223回「みがく講習会」[三重県伊勢市・伊勢青少年研修センター]《武田数宏、寺岡賢、山崎政弘、齋田聖生、竹本英美、亀田希奈里》

会員組織の主な動き

報 告

2/24～2/28…修養団沖縄がじまる会、SYDボランティア友の会「第35回沖縄戦遺骨収容ボランティア」17人[沖縄県糸満市・宇江城地区の二つの壕]



SYDボランティア友の会は、沖縄糸満地区において戦没者遺骨収容活動をおこなった。全国より18歳から86歳(平均58歳)の17名が参加し、多くの部分ご遺骨と印鑑、ボタン・ペン先・硬貨等の遺留品をお迎えした。

また、銃剣の他、手榴弾や多量の小銃弾等を発見し自衛隊不発弾処理隊に引き渡した。来年度も同時期に36回目の活動を予定している。なお団結式においては、久保田秀樹氏と平和祈念財団戦没者遺骨収集情報センターに修養団から感謝状を伝達した。

《発信・松谷毅》

情報あれこれ

★第17回SYDボランティア奨励賞 受賞者★

文部科学大臣賞

札幌市立宮の森中学校

科学部 科学工作ボランティア(北海道)

★「科学の楽しさを伝える」活動が様々な学びの体験に



地域で評判となり
ホールでイベント開催



地域の会館でおこなった
科学工作

優秀賞【小・中学生の部】

陸別町立陸別中学校 ボランティア部(北海道)

★様々なボランティア活動で地域とつながる



部員が作った雑巾や
アクリルタワシは
清掃活動で全校生徒が使います



地域の方々から労いの言葉を
かけてもらいながら
ゴミを回収しています

優秀賞【高校生の部】

福岡県公立古賀竟成館高等学校家庭クラブ

(福岡県)

★2つの小学校と連帯して山と海の問題に取り組む



完成した万華鏡のお披露目



海岸清掃でシーグラス・
プラスチック探し

優秀賞【大学・一般の部】

山口学芸大学ボランティアサークル子どもの木

(山口県)

★子どもたちと共に学び、共に成長できる環境づくりを



大田原自然の家での秋を
感じるウォークラリー

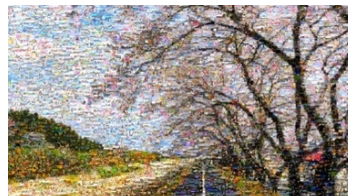


子どもの居場所作りでの
余暇支援

特別賞

福島きずなプロジェクト 廣瀬はる(神奈川県)

★福島の「魅力」と「今」を発信するプロジェクト



2000枚の福島の写真で描かれた
浪江町にの真っ直ぐに続く桜並木



商店街での福島の商品の
チャリティー販売会

【トルコ・シリア大地震被災者支援】



2月6日に発生した、トルコ共和国を中心とする大地震の被災者に対し「幸せの種まき献金」を募集しております。皆様のあたたかいご支援をお願いいたします。

(クレジットから)
SYDホームページ
↓
「SYD寄附・
献金サイト」へ

(郵便局から)
〈口座番号〉
00140-6-670944
〈加入者名〉
幸せの種まき献金

※通信欄・備考欄には「トルコ地震」とご記入ください
※「幸せの種まき献金」は、確定申告で「寄付金控除」を受けられます。

ご不明な点がございましたら
下記「社会教育部」までご連絡ください。

<発行・連絡先>

SYD(公益財団法人修養団) 社会教育部
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2
☎03(3405)5441 FAX03(3405)5424
E-mail : info@syd.or.jp
ホームページ : <https://syd.or.jp/>

SYD

検索